

平成 28 年度 第 265 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 29 年 3 月 28 日 (火) 13:30～15:50
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、吉永事務局長、
大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、
龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、
王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、田島入試広報センター長、
佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、

配布資料

- 1 国際交流協定(覚書)締結計画(申請)書
(パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)と北九州市立大学間の研究教育交流に関する覚書)
- 2 平成29年度 各種委員会等の構成
- 3 平成28年度 後期学友会交渉申し入れ書(回答案)
- 4 福岡県立ひびき高等学校の生徒受け入れについて
- 5-1 北九州市立大学の3つの方針の作成方針(案)について
- 5-2 背景
- 5-3 3つのポリシー策定及びカリキュラム再編スケジュール
- 6 大学院担当教員の資格審査結果について【報告】
- 7-1 出席確認システムの試行結果について
- 7-2 出席データの分析
- 7-3 今後のスケジュール
- 8 平成28年度 入試広報活動報告
- 9-1 グッバイエレジー
- 9-2 グッバイエレジー ロケ地マップ
- 10 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 について

* 資料1のとおり、パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)と北九州市立大学間の研究教育交流協定の締結について提案。

- 「本覚書が更新されない場合においても、進行中のプロジェクトは、少なくとも当該学年度の終了時までは継続するものとする」とあるが、フランスと日本では学年度の終了時期が違うのではないか。
- 当該学年度の終了時がいつを指すのかは、覚書を締結する前に確認にしたい。
- 氏名の綴りに誤記がある。修正をお願いしたい。
- 修正したい。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第 2 号 各種委員会委員の選考について

* 資料2のとおり、各種委員会委員の選出について提案。

- 各種委員会委員について、各部局からの推薦に基づいて委員を選出した。教員の氏名について、同姓の教員が複数いるため、個人が特定できるよう訂正した上で配布することとしたい。
- 委員の中で、1 学期は出張で不在となる者がいるため、2 学期のみとわかるよう表記の修正をお願いしたい。
- そのようにしたい。

【議長】一部資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 平成28年度後期学友会交渉申し入れ書に対する回答（案）について

* 資料3のとおり、平成28年度後期学友会交渉申し入れ書に対する回答案について提案。

- 第264回教育研究審議会（平成29年3月14日開催）で示した回答案に対して、各部局から修正意見がなかったため、これをもって、4月中旬に学友会に回答したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 福岡県立ひびき高等学校の生徒受け入れについて

* 資料4のとおり、福岡県立ひびき高等学校の生徒受け入れについて提案。

本件は報告事項としていたが、委員の中から高校生を受け入れる場合の身分の問題もある。どこが意思決定したか、明らかにする必要があるため、議案とするべきとの意見があった。これを受けて、議案として審議したい。

- 平成29年度から試行的に福岡県立ひびき高等学校の生徒を受け入れることとしたい。実施要領を定め、身分については「特別受講高校生」とし、平成29年度については、基盤教育科目である国際環境工学部提供科目（環境技術）および語学科目（朝鮮語）を試行的に提供することとする。大学での評価・単位認定は行わない。
- 食堂等の利用は出来るのか。またひびき高等学校には制服はあるのか。
- 食堂、図書館の利用も可能である。ひびき高等学校には制服がないため、私服で受講することとなる。
- 大学が評価・単位認定を行わないとのことだが、授業の中で小テストは本学学生と同様に実施してよいのか。
- 小テストも授業の一環であるので高校生にも受けていただいてもかまわない。
- 大学の授業が一番の商品であり、無料というのは問題があると思う。高校生に授業の切り売りや無料提供はしなくてもよいのではないか。また、すでに4月から受講する高校生が決定している状況で3月末に報告されても、反対意見や懸念事項を表明できない。進め方にも問題があるのではないのか。
- 基盤教育センター会議で承認はしたが、すでに受け入れることが決まっているとの説明であった。
- 国際環境工学部では3月15日の常任委員会で承認した。ただ、この科目は平成31年度からの新カリキュラムで開講されるかわからないため、平成29年度は受け入れるとさせていただいた。
- ひびき高等学校にはどのような説明をしているのか。
- まだ本格的な実施ではなく試行的に受け入れるものであるため、現段階で協定は結ばないと伝えている。また、高校が作成している高大等連携事業ハンドブックにも本学の名前は掲載されない。
- 試行的な受け入れであるというが、本格実施を目指して試行するのではないのか。
- 結果によって変わってくると思う。取りやめることも考えられるが、結果が良ければ、内容をさらに充実させて実施することも考えられる。試行結果を見ながら、今後の方向性はゼロベースから検討したい。
- 試行期間で何を試すのか。
- 高校生が大学の授業に対応できるかを確認したい。
- 制度の是非についても検討するべきではないか。
- ハンドブックには本学の名前は載らないとのことだが、実際に来年度2名の高校生が本学で授業を受けることとなる。何か問題があった場合はどうするのか。もう少し詰めておくべきではないか。
- 緊急時の取り扱いや高校における保険加入の徹底などを本学と高校、双方で確認する。

また、受入の可否、受講人数、評価の方法、受け入れ体制および規程等の整備は今後検討していく。

- 実施要領に試行であるとわかるように記載すべきではないか。
- そのように修正したい。
- 受け入れ可能かどうかは科目による違いも大きい。またご相談させていただきたい。
- 検討が必要な部分も多いが、試行的な受け入れについてはお認めいただき、今後、今回議論された点も含め検討し、試行結果を踏まえ、導入について判断することとしたい。

【議長】今回の議論をひびき高等学校に伝え、試行ということで、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 北九州市立大学の3つの方針の作成(案)について、資料5-1～5-3のとおり報告があった。
- ② 大学院担当教員資格審査結果について、資料6のとおり報告があった。
- ③ ICカード学生証を利用した出席確認システムの試行結果について、資料7-1～7-3のとおり報告があった。
- ④ 平成28年度入試広報活動報告について、資料8のとおり報告があった。
- ⑤ 映画「グッバイエレジー」への地域創生学群猪倉実習の撮影協力について、資料9-1～9-2のとおり報告があった。
- ⑥ 教員の海外出張について、資料10のとおり報告があった。
- ⑦ 次回の審議会を平成29年4月11日（火）に開催する予定である旨、報告があった。